

健診部健康管理センター

体制

主任部長 : 高森 行宏
副部長 : 遠藤 真紀子
副部長 : 榊原 敦子

2019年度健診部業務実績（月別）

	日帰り ドック	1泊 ドック	脳 ドック	大腸 オプショ ン	心臓 ドック	心臓 オプショ ン	肺 ドック	企業 健診	個人 健診	職員 健診
4月	242	72	72	14	3	7	35	26	5	291
5月	208	70	51	16	2	9	28	33	3	205
6月	238	70	65	12	1	15	25	12	0	175
7月	197	59	56	10	3	9	23	72	6	203
8月	201	68	64	15	0	11	31	61	6	187
9月	219	65	57	19	0	8	19	51	3	198
10月	231	72	57	15	1	8	34	55	4	213
11月	231	70	58	13	0	8	29	54	9	206
12月	226	63	53	13	1	8	18	26	1	181
1月	206	64	68	18	2	9	31	15	4	217
2月	196	64	61	14	1	4	25	48	14	187
3月	202	57	46	11	3	6	33	20	16	217
計	2,597	794	708	170	17	102	331	473	71	2,480

研究課題

- 1 ドック健診における高感度 CRP 検査と生活習慣との関連について
(高森行宏)
- 2 大腸腫瘍の有無と生活習慣、健診データとの関連性について
(高森行宏)
- 3 中高年女性における健康意識および生活習慣と健診データとの関連性
(高森行宏)
- 4 脂肪肝症例における肝線維化マーカー (FIB4 Index) と健診データの検討
(遠藤真紀子)

- 5 壮年期男性の頸動脈超音波所見の検討
(遠藤真紀子)
- 6 日本の子宮頸がん死亡・罹患率の年次変動と将来予測：ベイズ型 Age-Period-Cohort (APC) 分析 (榑原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
- 7 日本人女性における喫煙割合と子宮頸がん死亡・罹患率の経年変化：Birth cohort analysis
(榑原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
- 8 日本人女性における喫煙割合と子宮頸がん死亡・罹患率の経年変化：Joinpoint analysis
(榑原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
- 9 出生コホートによる子宮頸がん罹患率とリスクファクターの関連：相関・回帰分析
(榑原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
- 10 子宮頸癌における年齢と予後の関連についての検討：多施設共同研究
(榑原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
- 11 北野病院医療情報を使用した HPV ワクチン接種状況の記述統計学的分析
(榑原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
- 12 北野病院産婦人科癌登録データを使用した若年子宮頸癌および CIN3 の時系列分析 (榑原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
- 13 日本における若年子宮頸がん予防対策の効果の推計
(榑原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)
- 14 子宮頸がん症例に対する手術療法・放射線療法 (同時化学放射線療法) ・化学療法の成績における年齢因子の影響の解析
(榑原敦子、片山俊郎、樋口壽宏)

学会発表

- 1 高森行宏、遠藤真紀子 大腸腺腫の有無と生活習慣、健診データとの関連について 第 60 回日本人間ドック学会学術集会 2019/7/25-26 (岡山)
- 2 遠藤真紀子、高森行宏 脂肪肝症例における肝線維化マーカー (FIB4 Index) と健診データの検討 第 60 回日本人間ドック学会学術集会 2019/7/25-26 (岡山)
- 3 高森行宏 高齢女性における継続的サプリメント摂取および運動習慣の有無と健康状態の関連について 第 78 回日本公衆衛生学会総会 2019/10/23-25 (高知)

- 4 榊原敦子、中山健夫、内田博之、小田切陽一、伊藤ゆり、小西郁生、片山俊郎、松井邦彦、宮崎貴久子、樋口壽宏、寺川耕市、上田 豊 日本の子宮頸がん死亡・罹患率の年次変動と将来予測：ベイズ型 Age-Period-Cohort(APC)分析 第 61 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 2019/7/4-6 (新潟)
- 5 榊原敦子、中山健夫、片山俊郎、小西郁生、内田博之、小田切陽一、伊藤ゆり、松井邦彦、宮崎貴久子、樋口壽宏、寺川耕市、上田 豊 若年子宮頸がん罹患率と性交累積経験割合の関連と時系列変化：出生コホートによる相関・回帰分析 第 61 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 2019/7/4-6 (新潟)
- 6 榊原敦子、中山健夫、伊藤ゆり、内田博之、小田切陽一、小西郁生、片山俊郎、松井邦彦、宮崎貴久子、樋口壽宏、寺川耕市、上田 豊 出生コホートによる日本人女性の喫煙割合と子宮頸がん死亡・罹患率の動向と変遷 第 61 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 2019/7/4-6 (新潟)
- 7 Atsuko Sakakibara, Takeo Nakayama, Yutaka Ueda, Yuri Ito, Hiroyuki Uchida, Youichi Odagiri, Toshiro Katayama, Toshihiro Higuchi, Koichi Terakawa, Kunihiko Matsui, Kikuko Miyazaki, Ikuo Konishi. Effects of smoking on cervical cancer mortality and incidence in Japanese females: Comparison by birth cohort. 第 78 回日本癌学会学術総会 2019/9/26-28 (京都)
- 8 Atsuko Sakakibara, Takeo Nakayama, Hiroyuki Uchida, Youichi Odagiri, Yuri Ito, Yutaka Ueda, Toshiro Katayama, Toshihiro Higuchi, Koichi Terakawa, Kunihiko Matsui, Kikuko Miyazaki, Ikuo Konishi. Current status and projections of cervical cancer in Japan (1975-2028): Age-period-cohort analyses. 第 30 回日本疫学会学術総会 2020/2/20-22 (京都)

講演：

1. 榊原 敦子、HPV ワクチン必要性の科学的根拠：日本の若年子宮頸がんの現状と将来予測（時系列データの分析）。大阪産婦人科医会(OCEAN STUDY)、2019. 11. 9、大阪

論文

- 1 榊原敦子、中山健夫、上田 豊、伊藤ゆり、内田博之、小田切陽一、片山俊郎、樋口壽宏、小西郁生 たばこと子宮頸がんの密接な関連：出生コホートによる比較 産婦人科の実際 69 巻 4 号 411-418 2020 年、金原書店

獲得研究奨励金：

1. 公益財団法人田附興風会医学研究所 きたの研究奨励金臨床研究部門 「日本の若年子宮頸がん予防対策の検証」 令和元年～2 年度